

2022年2月14日

各 位

会社名 株式会社 キャンバス  
代表者名 代表取締役社長 河邊 拓己  
(コード番号: 4575 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役最高財務責任者 加登住 眞  
IR@canbas.co.jp

### **CBS9106臨床第1相試験完了のお知らせ**

当社が創出し米国Stemline社にライセンスしている抗がん剤候補化合物CBS9106（一般名：felezonexor）の臨床第1相試験について、試験完了がClinicalTrials.govに報告されましたので、お知らせします。

CBS9106（XPO1可逆的阻害剤）は、核外輸送因子XPO1（CRM1）を可逆的に阻害することによって癌関連因子が細胞核外へ輸送されるのを抑制して抗癌活性を示す抗がん剤候補化合物です。

同じXPO1阻害剤に、米国Karyopharm社のXPOVIO（一般名：selinexor）があります。ステロイド系抗炎症薬デキサメタゾンとの併用によるピボタル第2b相臨床試験の結果をもとに、2019年に再発または難治性多発性骨髄腫治療薬としてFDAに迅速承認され、XPO1阻害剤領域のファースト・イン・クラスとなりました。その後、さまざまな癌腫への適応拡大や地域拡大を図る臨床開発が進められています。

CBS9106はこれと比較して、標的蛋白質XPO1を分解に導き、細胞が新たなXPO1を作ることによって副作用が軽減されると考えられる点が強みです。この強みを活かし、XPO1阻害剤領域のベスト・イン・クラスを目指して臨床開発が進められています。

当社は、2014年にCBS9106の開発・製造・商業化にかかる全世界における独占的権利をStemline社に供与し、Stemline社は2016年から臨床第1相試験を実施してきました。

この詳細についてはClinicalTrials.govの該当ページをご参照ください。

<https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT02667873>

臨床第1相のデータ等について、現時点で同社から公表されている情報はありません。今後当社が公表できる情報を入手した場合には速やかに開示します。

過去の途中経過に関する情報は[当社2020年9月23日公表資料](#)をご参照ください。

CBS9106臨床第1相試験の完了について、当社代表取締役社長河邊拓己は次のようにコメントしています。

「今回の臨床第1相試験完了の報告に安堵し、喜ばしく思っています。CBS9106が予想を大きく上回る安全性を示したため、臨床第1相試験の期間が当初の見通しよりも長くなっていました。

Stemline社はイタリアMenarini社に買収され、将来の本格的な欧州展開も見えています。買収やコロナ禍の中でも当社と同社開発チームとの緊密な連携は継続しており、今回の報告のように、臨床試験も順調に進められています。

キャンバスは引き続き、Menarini社・Stemline社とともに、CBS9106/felezonexorをベスト・イン・クラスのXPO1阻害剤とすることを目指し、迅速な臨床開発の進捗と、これに伴う当社企業価値の向上に努めます」

本件による当期業績への影響はありませんが、CBS9106がピボタル試験段階に進むこととなった場合にはそれに伴うマイルストーン収入が想定されます。また中長期的には、上市された後のロイヤルティ収入が見込まれます。

以上